



千葉労働月刊

倒せ村山政権! はばめ朝鮮侵略戦争! 11.20 全国反戦集会 結集せよ

一月二〇日、東京・日比谷野外音楽堂において、「倒せ村山政権、はばめ朝鮮侵略戦争、一一・二〇全国反戦集会」が行なわれる。

戦後最大の政治激動にある日本

「五五年体制」が崩壊してからわずか一年有余の間に、四つの内閣が入れ替わり、全ての既成政党が崩壊・消滅・再編の過程へと突入するなど、日本は戦後最大の政治的激動の渦中へと踏み込んでいる。

そして全ての政治勢力が、「政治改革」等々の美名の下に、同じことを合唱する翼賛政治状況が生み出され、「新新党の結成」「護憲新党」の結成等、新たな政界再編の動きが一斉に始まっている。

全面降伏する村山社会党!

とりわけ、村山自社連立政権の登場と、「全面降伏」とも言うべき社会党の路線転換は、全ての労働者を激動の奔流へ投げ込もうとしている。

小選挙区制を密室談合で成立させ、「自衛隊合憲」、「中立・非同盟路線は歴史的役割を終えた」、「日米安保堅持」、「日の丸」は国旗、「君が代」は国歌、「原発容認」と社会党の基本路線を全面的に転換するのみならず、自衛隊のルワンダ派兵強行、「行政改革と規制緩和を断行することが使命」、「原発の新たな推進」、「地方分権基本法の次期国会提出」、

「消費税の五%へのアップを閣議決定」、さらには「平和維持軍(PKF)凍結解除を含めたPKO法の見直し」に対応すると表明、国連安保理入り、国連軍事参謀委を検討、等々、自民党政権が、羽田・小澤政権が出来なかつたことを実行するといふ、枚挙にいとまがない屈伏に続く屈伏を繰り返している。

朝鮮・アジアを巡って激突する

日米の権益とその対立激化!

村山政権のこれら一つ一つの反動的攻撃は、朝鮮侵略戦争へと向かう連鎖する攻撃です。

朝鮮情勢は、北朝鮮の「核疑惑」を発端として、この一八日に米朝高官会談において合意に米朝の核不拡散防止条約(NPT)への完全復帰、国際原子力機関(IAEA)の特別査察の実施受け入れを確認、米大統領令合意内容につき受け入れ表明、チームスピリットの中止を発表、そして二二日に正式調印と関係改善に向け動き出したとみられている。

しかし本質は、米帝による「世界戦略」一凄まじいまでの軍事重圧によつて、体制の危機にある金正日体制を潰すことにある以上、この過程は、いつ戦争が爆発してもおかしくない、本

格的危機への突入なのです。

ソ連崩壊以降、その「世界戦略」の根底にあるものは、アジアにアメリカを圧倒する権益を持つにいたつた日帝のアジア支配を突き崩すために利用しようとしている面が極めて大きく、村山政権が朝鮮侵略へと本格的に動き出したことに危機感を強めた激しい突進であり、朝鮮・アジアの権益確保を巡つての日米の対立・激突を不可避としている。

反動村山政権を打倒しよう!

われわれは、朝鮮・アジア人民の怒りの決起に応え、戦争と大失業をもたらす村山政権を打倒しなければなりません。このことこそ日帝の延命の道を潰し、朝鮮侵略戦争への道を粉砕する水路です。

一一・二〇、日比谷野音に総力で結集しよう!

11.20 日比谷へ 総結集せよ!!

11.3 日比谷公園 結集せよ

【とき】 11月3日(木) 9時~
【ところ】 千葉公園グランド
* JR千葉駅西口下車徒歩10分
【連絡先】 国鉄千葉動力車労働組合
☎ 043(222)7207
* 運動のできる服装でお出かけ下さい。



当面する行動
八五・一一第一波スト公労法解雇公判
とき 一九九四年一〇月二五日 (火)
十一時から
ところ 東京高等裁判所 八一七号法廷
津田沼支部・高橋君の証人調べ
九〇・三スト損害賠償請求公判
とき 一九九四年十一月四日 (金)
一〇時三〇分から
ところ 千葉地方裁判所
会社側・江沢証人への反対尋問